

# 美川っ子

R3.2.24 文責 岡田憲明

## コロナに負けない！

コロナウイルス感染症に関わる留意事項について、学校にも文科省などから文書が送られてきます。そういった文書の中でも、繰り返して触れられていることがあります。多くの皆様が、そういったキーワードについては耳にしておられると思いますが、物事に慣れてくると、忘れがちになることもありますので、改めてお知らせして、確認したいと思います。尚、この情報は、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策室からの情報を元に作成しています。

### 「実践、スマートライフ」

感染を防ぎ、新たな日常を生きるために

- 1 密集・密接・密室を避ける
- 2 安全な距離を保つ
- 3 こまめに手を洗う
- 4 室内換気と咳エチケット

※COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の感染拡大を防ぐには

- ・手を清潔に保ちましょう。石けんで手洗いをを行うか、手指消毒用アルコールで消毒を行いましょう。
- ・咳やくしゃみをする人からの距離を保ちましょう。
- ・対人距離を維持できない場合はマスクをしましょう。
- ・自分の目、鼻、口に触るのはやめましょう。
- ・咳やくしゃみをするときは、肘の内側またはティッシュペーパーで鼻と口を覆いましょう。
- ・発熱、咳、呼吸が苦しい場合は、医師の診察を受けてください。
- ・マスクを使うことは、他の人への感染を防ぐ上で有効です。
- ・対話での会議や面談が避けられない場合には、十分な距離を保ち、マスクを着用しましょう。

●上記の内容については、今までに繰り返して述べられてきたことです。それでも、その情報が繰り返し発信されるのは、それが、有効である証拠です。



●また、どの項目に書いてあることも、本人が少し注意をすることで実践できることです。また、もちろん、コロナウイルス感染症だけではなく、その他のウイルス感染症への対策としても有効です。

●お互いに、確認し合うことができるといいですね。

●今年度も残りわずかとなりました。一日、一日がもつ重みと、思いが増しています。互いに、大切な一日を十分に生かして、残された行事も、工夫して開催して次へとつなぐことができるように、配慮していきたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 鼓笛隊引継式

1月28日（木）からスタートした、鼓笛練習。パートごとに分かれて練習を進めました。それぞれ、個人練習にも励みながら、全体練習も行ってきました。

それは、2月19日（金）に行われる、鼓笛隊引継式に向けて努力を重ねてきたものです。本番に向けて、昼休みなどを利用して、練習を重ねたパートもあります。引継式の期日は決まっていますから、そこで、最高の演奏、演技ができるようになっていなければなりません。そういう責任感を背負いながら、練習に励んだのだと思います。

さて、引継式当日は、まず、旧鼓笛隊の演奏から始まりました。令和2年度美川小学校鼓笛隊の指揮者、寺杣心さんの号令のもと演奏がスタートしました。その後、楽器の引継、指揮杖の引継が行われました。6年生寺杣さんから、新鼓笛隊メンバーへのエール、5年生新指揮者阪田愛葉さんから、6年生への感謝のメッセージが送られました。その後、令和3年度美川小学校鼓笛隊の演奏のスタートです。新指揮者阪田さんの号令の下、整然と演奏が進められました。その演奏の最中には、6年生は、隊から離れ、体育館のステージ側に移動し、新鼓笛隊の演奏を聴いていました。

今年度も残り僅かとなりました。6年生は卒業に向けての活動を進めています。5年生以下は、6年生を送るための活動の準備を進めています。この鼓笛隊の引継式もそういった活動の一環ということができると思います。

美川小学校の伝統を引き継ぎ、自らの協力で令和2年度的美川小学校の伝統を創り上げてきた6年生に感謝の気持ちでいっぱいです。次に引き継ぐのは5年生以下の子どもたちです。そして、特に5年生は、美川小学校の中心となって、美川小学校の伝統を創り上げる出番が、いよいよ、やってきました。

卒業式まであと僅か。6年生から様々なものを引き継ぎ、5年生のカラーをのせながら、新しい伝統を創り上げる準備をしっかりと進めてほしいと思います。



## なわとび集会



1月の学校だよりでもお伝えしたように、3学期になってから、なわとび道場がスタートしています。業間を学年で割り振って、全校でなわとびに取り組んできました。

もちろんそのときの練習だけで上達するわけありません。子どもたちは、割り当てではない日も、校庭に出てなわとびにいそしんでいました。おうちでいたすら練習に取り組んだ子どももいたようです。すごいですね。競い合う中で、誰に言われたからでもなく、自分で目標を決めて、家でなわとびの練習に打ち込む子ども！素敵な姿だと思います。そして、その成果を発表する場として、保健体育委員会が主催となり、いよいよ、2月10日（水）になわとび集会の日がやってきました。

まず、保健体育委員長のあいさつの後、競技に入りました。

### 持久跳び競争

競技の部は、まず持久跳び競争（両足跳び）からスタートです。1～3年生は3分間、4～6年生は5分間の両足持久跳びです。休み時間や体育の時間に練習を積み重ねた成果を発表する場ですが、それぞれが1回限りのチャレンジです。ちょっとしたミスで終わりとなってしまいます。緊張に包まれての挑戦です。



今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、声を出しての応援は禁止です。また、競技をしないときには、マスク着用となっていました。昨年度までのような「がんばれ」「がんばれ」の声は体育館にはありません。

しかし、今年は声には出さないけれども、無言ながら、拍手の応援で気持ちを表しました。体育館には拍手の音が鳴り響きました。気持ちは伝わるものですね。記録を伸ばした人もたくさんいたようです。

### 技能チャレンジ



次は、技能チャレンジです。1～3年は①かけ足跳び（前後）②あや跳び・交差跳び（前後）③二重跳び（前後）の30秒チャレンジ、4～6年は①あや跳び・交差跳び（前後）②二重跳び（前後）③あや二重（前後）の1分チャレンジに分かれて挑戦しました。いくつか種目があって、どの種目を選ぶかは個人に任されていますが、「敢えて難しい技に挑戦する」子どもの姿がありました。たとえ失敗しても、「簡単な技を選ぶ」という選択をするのではなく、高みに挑戦する姿勢。カッコいいと思います。その気持ちが、自分の力を伸ばすのです。今日できなくても、明日。明日できなくてもあさってと、確実に力は伸びていきます。自分でチャレンジすることが、自分の力を伸ばすのです。

1年後、チャレンジした人と、しなかった人ではどうなっているでしょうか。がんばって挑戦した子どもたちに拍手を送りたいです。

### 8の字とび競争

8の字とび競争は、なかよし班で1分間に跳んだ回数で争います。長い間、班で練習を重ねてきたことです。もちろん、学級でも練習をしてきましたが、なかよし班のメンバーで跳ぶことができるのは休憩時間の合同練習日だけです。それぞれの班が立てた作戦で1年生から6年生までが順に跳んでいきます。

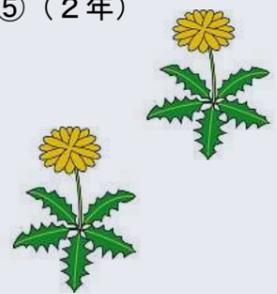
高学年が回し手になる班、そうではない班、声をかける班、回数を数える班。いろいろな作戦はありますが一つ必ず言えることは班全員の心をひとつにしなければ回数は増えていかないということです。苦手な人に声をかける班、背中を押して手助けする班、声をかけられたり、合図を送られたりすると、そのタイミングで入ることができていました。協力することが成果として表れます。長縄跳び（8の字跳び）のよいところは、協力し合って力を伸ばすところです。そして簡単そうに見える「跳ぶ」ということの中にいろいろな力が求められます。そして、本人だけの力ではできないことを、「協力」によって乗り越えることができます。8の字跳びは、「自分で決める力」「そして、みんなのことを考えて協力する力」を伸ばすことができるとてもよい種目だと思います。



高学年が回し手になる班、そうではない班、声をかける班、回数を数える班。いろいろな作戦はありますが一つ必ず言えることは班全員の心をひとつにしなければ回数は増えていかないということです。苦手な人に声をかける班、背中を押して手助けする班、声をかけられたり、合図を送られたりすると、そのタイミングで入ることができていました。協力することが成果として表れます。長縄跳び（8の字跳び）のよいところは、協力し合って力を伸ばすところです。そして簡単そうに見える「跳ぶ」ということの中にいろいろな力が求められます。そして、本人だけの力ではできないことを、「協力」によって乗り越えることができます。8の字跳びは、「自分で決める力」「そして、みんなのことを考えて協力する力」を伸ばすことができるとてもよい種目だと思います。

## 3月の主な行事

- 1日（月）職員会、6年生を送る会③、第7回運営委員会
- 2日（火）新掃除場所
- 3日（水）バースデープロジェクト⑤（2年）
- 4日（木）外国語（支援員）
- 5日（金）児童総会⑤
- 8日（月）職員会
- 11日（木）外国語（ALT）
- 12日（金）卒業式前日準備
- 13日（土）卒業証書授与式
- 15日（月）振替休業日
- 16日（火）安全点検
- 17日（水）PTA監査会、そろばん出前授業②③（3年）
- 18日（木）外国語（支援員）
- 20日（土）春分の日
- 23日（火）ラブック号
- 24日（火）修了式・離任式・給食終了 下校14:15



## ありがとうございました

○以前、本校に手指消毒液を贈ってくださった、鷹田将太郎さんが、1月29日に本校児童にパンを贈って下さいました。鷹田さんは広島で、パン屋さん（フジパンだそうです）にお勤めです。パンは子どもたち一人一人に渡して、家に持ち帰ってもらいました。ありがとうございました。



【以前本校を訪ねてくださったときの鷹田さん】